

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場会社名 東洋埠頭株式会社  
 コード番号 9351 URL <http://www.tovofuto.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鈴木 隼夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部審査課長 (氏名) 伊藤 孝  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 東

TEL 03-5560-2702

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	8,675	—	356	—	396	—	200	—
20年3月期第1四半期	8,346	2.6	320	△15.1	343	△10.1	203	△5.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	2.60	—
20年3月期第1四半期	2.64	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	44,660	18,490	18,490	41.4	239.49			
20年3月期	43,567	17,993	17,993	41.3	233.07			

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 18,469百万円 20年3月期 17,974百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	17,000	—	700	—	680	—	260	—	3.37
通期	33,000	3.5	1,000	54.1	950	77.9	360	—	4.67

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 82,626,904株 20年3月期 82,626,904株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 5,507,537株 20年3月期 5,506,080株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 77,119,913株 20年3月期第1四半期 77,144,439株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月13日に公表いたしました連結業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも本資料において修正しております。

2. 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等について、及び上記1に係る業績予想の具体的修正内容は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間（平成20年4月～平成20年6月）におけるわが国経済は、原油をはじめとする資源の高騰や金融不安による米国経済の減速懸念から、企業収益や個人消費が減少に転じるなど厳しい状況でありました。

当埠頭・倉庫業界においては、物流量は前月比連続して減少し、また、一般産業界の物流経費圧縮の影響や物流不動産業者による大型倉庫スペースの提供が続くなど、大変厳しい経営環境のもとで推移しました。

このような状況下にありましたが、当社グループは、引き続き営業体制を強化して、取扱数量を増加させるなど、営業拡大を図る一方、業務の一層の効率化、合理化を進めて業績の向上に努めました。他方では、志布志地区に普通倉庫1棟（1,822㎡）、大阪地区に輸入バナナ追熟設備をそれぞれ建設・稼働させるなど、経営基盤の拡充に努めました。

当第1四半期連結会計期間は、埠頭貨物や輸入青果物の取扱いは減少しましたが、一般倉庫貨物の取扱いや国際物流業務が増加したことにより増収となりました。

すなわち、当第1四半期連結会計期間の営業収入は、86億7千5百万円（前年同期比3億2千9百万円の増収）、経常利益は3億9千6百万円（前年同期比5千3百万円の増益）となりましたが、投資有価証券評価損6千1百万円を特別損失に計上したことにより、四半期純利益は2億円（前年同期比3百万円の減益）となりました。

部門別概況は次のとおりであります。

#### ○埠頭部門

経岸貨物量は、128万トン（前年同期148万トン）でありました。

雑穀は、川崎、志布志の取扱いが増加しましたが、鹿島地区で減少したため、前年同期（103万トン）を下回る97万トンの取扱いとなりました。

石炭類は、川崎の火力発電所用の石炭の取扱いが減少したことにより、前年同期（31万トン）を下回る19万トンの取扱いでありました。鉱石類等其他貨物は、シリカサンドは増加しましたが、ソーダ灰及びスクラップなどの取扱いが減少し、前年同期（13万トン）を下回る11万トンの取扱いでありました。

当部門における営業収入は11億4千1百万円で、前年同期比7.3%の減収となりました。

#### ○倉庫部門

当部門の入出庫数量は、92万トン（前年同期82万トン）でありました。

平均保管残高は、数量で26万トン（前年同期24万トン）、金額で361億円（同335億円）となりました。

一般貨物では、紙・パルプや化学工業品などの取扱いが増加した一方、米・麦、豆類、金属製品などの取扱いが減少しました。

輸入青果物は、バナナやキーウィフルーツは増加しましたが、パイナップルや野菜などの取扱いが減少しました。

冷蔵倉庫貨物の取扱いは、3万5千トン（前年同期3万トン）でありました。

当部門における営業収入は57億2千7百万円で、前年同期比4.1%の増収となりました。

#### ○その他の部門

当部門は、国際物流業務、施設賃貸業務、自動車運送業務、コンテナターミナル業務、工場構内

作業などで構成されています。これらのうち、国際物流業務及び自動車運送業務などを中心に取扱いが増加しました。当部門における営業収入は18億7百万円となり、前年同期比12.2%の増収となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 全般の概況

当第1四半期末の総資産は、株価の上昇に伴い投資有価証券が前連結会計年度末と比べ7億4千8百万円増加したことや受取手形及び営業未収金が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ10億9千3百万円増加し44億6千万円となりました。純資産は、その他有価証券評価差額金が増加したことで4億9千6百万円増加し18億4千9百万円となり、自己資本比率は41.4%で前連結会計年度末比0.1ポイント上昇しました。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末の現金及び現金同等物の期末残高は、期首残高と比較し6千8百万円増加し、14億円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、移転補償金による収入がなくなったものの、法人税等の支払額が4億2百万円減少し16百万円となったことなどで前年同期に比べ1億9千8百万円増加し7億3百万円となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億9千7百万円の純支出となりました。固定資産の取得による支出が増加したことなどにより、1億2千8百万円純支出が増加しております。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億3千5百万円の純支出となりました。長期借入金の返済による支出の減少額が、新規の長期借入れを行なわなかったことによる収入の減少額を上廻ったことで4千4百万円純支出が減少しております。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の連結業績予想につきまして、以下のとおり修正いたします。

### (1) 第2四半期連結累計期間の連結業績予想(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,000	830	800	360	4.67
今回修正予想(B)	17,000	700	680	260	3.37
増減額(B-A)	—	△130	△120	△100	—
増減率(%)	—	△15.7	△15.0	△27.8	—
前中間期実績	16,116	484	461	△1,289	△16.71

## (2) 通期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 33,000	百万円 1,300	百万円 1,200	百万円 550	円 銭 7.13
今回修正予想 (B)	33,000	1,000	950	360	4.67
増減額 (B - A)	—	△300	△250	△190	—
増減率 (%)	—	△23.1	△20.8	△34.5	—
前期実績	31,878	648	534	△1,407	△18.25

## (3) 修正の理由

投資有価証券の評価損61百万円を第1四半期に予定外で特別損失に計上したこと、埠頭部門での石炭の取扱い及び倉庫部門での輸入青果物の取扱いが共に予想を下廻ることなどにより、営業利益及び経常利益が業績予想を下廻る見込みであり、第2四半期累計期間の純利益、当期純利益とも予想を下廻る見込みです。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

## ② 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

## (3) 四半期連結財務諸表に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 当第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

なお、これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,800	1,731
受取手形及び営業未収金	4,456	4,226
貯蔵品	138	145
前払費用	197	142
繰延税金資産	162	203
その他	627	628
貸倒引当金	△42	△53
流動資産合計	7,340	7,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	48,920	48,647
減価償却累計額	△32,193	△31,925
建物及び構築物(純額)	16,726	16,722
機械及び装置	17,094	16,901
減価償却累計額	△14,524	△14,396
機械及び装置(純額)	2,570	2,505
船舶及び車輛運搬具	1,038	1,030
減価償却累計額	△877	△865
船舶及び車輛運搬具(純額)	160	164
工具、器具及び備品	981	975
減価償却累計額	△853	△845
工具、器具及び備品(純額)	127	130
土地	8,266	8,266
建設仮勘定	159	176
有形固定資産合計	28,012	27,966
無形固定資産		
その他	222	233
無形固定資産合計	222	233
投資その他の資産		
投資有価証券	7,263	6,514
長期貸付金	90	94
繰延税金資産	98	99
その他	1,709	1,712
貸倒引当金	△78	△78
投資その他の資産合計	9,083	8,341
固定資産合計	37,319	36,542
資産合計	44,660	43,567

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	3,131	3,022
短期借入金	6,409	6,160
未払法人税等	49	37
未払金	579	719
設備関係支払手形	1,201	810
その他	976	874
流動負債合計	12,348	11,625
固定負債		
長期借入金	11,488	11,881
繰延税金負債	685	300
退職給付引当金	1,173	1,161
役員退職慰労引当金	90	176
その他	382	428
固定負債合計	13,821	13,947
負債合計	26,170	25,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,260	8,260
資本剰余金	6,276	6,276
利益剰余金	3,727	3,720
自己株式	△1,140	△1,140
株主資本合計	17,124	17,117
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,336	851
為替換算調整勘定	8	5
評価・換算差額等合計	1,344	857
少数株主持分	21	18
純資産合計	18,490	17,993
負債純資産合計	44,660	43,567

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業収入	8,675
営業原価	7,779
営業総利益	896
販売費及び一般管理費	540
営業利益	356
営業外収益	
受取利息	2
受取配当金	80
受取地代家賃	21
持分法による投資利益	1
その他	28
営業外収益合計	134
営業外費用	
支払利息	92
その他	1
営業外費用合計	94
経常利益	396
特別損失	
固定資産除却損	3
投資有価証券評価損	61
特別損失合計	64
税金等調整前四半期純利益	332
法人税、住民税及び事業税	32
法人税等調整額	98
法人税等合計	130
少数株主利益	0
四半期純利益	200

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	332
減価償却費	444
引当金の増減額 (△は減少)	△84
固定資産処分損益 (△は益)	3
借地権利金償却額	4
投資有価証券評価損益 (△は益)	61
受取利息及び受取配当金	△83
支払利息	92
持分法による投資損益 (△は益)	△1
売上債権の増減額 (△は増加)	△222
仕入債務の増減額 (△は減少)	109
その他	43
小計	700
利息及び配当金の受取額	91
利息の支払額	△71
法人税等の支払額	△16
営業活動によるキャッシュ・フロー	703
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
固定資産の取得による支出	△322
固定資産の売却による収入	0
固定資産の除却による支出	△10
投資有価証券の取得による支出	△2
貸付けによる支出	△393
貸付金の回収による収入	431
投資活動によるキャッシュ・フロー	△297
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	298
長期借入金の返済による支出	△440
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△335
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	68
現金及び現金同等物の期首残高	1,331
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,400



当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

部門別四半期営業収入

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
	金額
埠頭部門	1,141
倉庫部門	5,727
その他部門	1,807
合計	8,675

(百万円未満切捨)

「参考資料」  
前四半期に係る財務諸表等  
(1) 四半期連結損益計算書

東洋埠頭㈱(9351) 平成21年3月期第1四半期決算短信

(単位:百万円)

科 目	前 年 同 四 半 期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金 額
営 業 収 入	8,346
営 業 原 価	7,575
営 業 総 利 益	770
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	449
営 業 利 益	320
営 業 外 収 益	119
受 取 利 息	4
受 取 配 当 金	58
土 地 建 物 賃 貸 料	18
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	10
そ の 他	28
営 業 外 費 用	97
支 払 利 息	84
そ の 他	12
経 常 利 益	343
特 別 利 益	24
退 職 給 付 制 度 移 行 益	22
車 輜 売 却 益	1
特 別 損 失	10
固 定 資 産 除 却 損	9
投 資 有 価 証 券 等 評 価 損	1
税 金 等 調 整 前 益 四 半 期 純 利 益	356
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	18
法 人 税 等 調 整 額	132
少 数 株 主 利 益	1
四 半 期 純 利 益	203

(百万円未満切捨)

## (2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

項 目	前 年 同 四 半 期 (平成20年3月期第1四半期)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	356
減価償却費	507
引当金の増減額	△ 91
固定資産処分損益	8
借地権利金償却額	5
車輜売却益	△ 1
退職給付制度移行益	△ 22
投資有価証券等評価損	1
受取利息及び受取配当金	△ 62
支払利息	84
持分法による投資損益	△ 10
売上債権の増減額	△ 323
仕入債務の増減額	316
その他の	31
小計	800
移転補償金による収入	112
退職給付制度移行による収入	11
利息及び配当金の受取額	69
利息の支払額	△ 68
法人税等の支払額	△ 419
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>505</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
固定資産の取得による支出	△ 167
固定資産の売却による収入	3
固定資産の除却による支出	△ 15
投資有価証券の取得による支出	△ 2
貸付けによる支出	△ 488
貸付金の回収による収入	500
その他の	0
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 168</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金純増減額	300
長期借入れによる収入	1,000
長期借入金の返済による支出	△ 1,482
自己株式の取得による支出	△ 4
配当金の支払額	△ 193
その他の	0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 379</b>
<b>IV 現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>△ 42</b>
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>1,167</b>
<b>VI 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>1,124</b>

(百万円未満切捨)

## 部門別四半期営業収入

(単位:百万円)

	前 年 同 四 半 期 (平成20年3月期第1四半期)
	金 額
埠 頭 部 門	1, 231
倉 庫 部 門	5, 504
そ の 他 部 門	1, 610
合 計	8, 346

(百万円未満切捨)